

**令和6(2024)年度
全国学力・学習状況調査
結果分析**



下野市教育研究所

令和6年11月

令和6(2024)年度「全国学力・学習状況調査」結果速報

令和6年8月
下野市教育委員会

調査について

1 調査の概要（「全国学力・学習状況調査」実施要領より一部抜粋）

（1）調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

（2）調査実施日

令和6(2024)年4月18日（木）

（3）調査対象

- ①小学校調査：小・義務教育学校第6学年
- ②中学校調査：中学校第3学年、義務教育学校第9学年

（4）調査事項及び手法

①教科に関する調査

- ・小学校調査：国語、算数
- ・中学校調査：国語、数学

②児童生徒質問調査

- ・内容：学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等
- ・方法：ICT端末を用いたオンライン方式
- ・質問数：（小学校）69項目＋教科に関する項目4問
（中学校）71項目＋教科に関する項目4問

③学校質問調査

- ・内容：指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等
- ・方法：ICT端末を用いたオンライン方式
- ・質問数：（小学校）81項目
（中学校）85項目

（5）留意事項

本調査の結果は、学力の特定の一部であること、学校における活動の一側面であることに留意し、児童生徒の全般的な学習状況への指導・改善等につなげるよう留意する。

2 本市の参加状況 ※参加人数は最も多かった教科のもの

調査対象内訳	参加校数	参加人数
小・義務教育学校第6学年	9校	470人
中学校第3学年・義務教育学校第9学年	4校	474人

本市の結果について

※小学校には義務教育学校前期過程、中学校には義務教育学校後期課程を含みます

1 概要

- ◎ 大きく上回っている(5ポイント以上)
- 上回っている(1ポイント以上5ポイント未満)
- － 同じ(±1ポイント未満)
- ▽ 下回っている(1ポイント以上5ポイント未満)
- ▼ 大きく下回っている(5ポイント以上)

【教科に関する調査の結果】※下野市と県、全国の平均正答率の比較

小学校第6学年			中学校第3学年		
教科	県との比較	全国との比較	教科	県との比較	全国との比較
国語	○	○	国語	○	○
算数	○	○	数学	○	○

2 結果の推移 (全国平均正答率との比較)

- ◎ 大きく上回っている(5ポイント以上)
- 上回っている(1ポイント以上5ポイント未満)
- － 同じ(±1ポイント未満)
- ▽ 下回っている(1ポイント以上5ポイント未満)
- ▼ 大きく下回っている(5ポイント以上)

【直近10年間の結果】

学年	教科	H27	H28	H29	H30	H31	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
小学校第6学年	国語A	▽	◎	○	○	○	一斉実施なし	○	○	○	○
	国語B	◎	○	○	○			○	○	○	○
	算数A	◎	◎	○	○	○		○	○	○	○
	算数B	○	○	○	○			○	○	○	○
	理科	○	/	/	○	/		/	○	/	/
中学校第3学年	国語A	○	○	－	○	○		○	○	○	○
	国語B	○	◎	○	○		○	○	○	○	
	数学A	○	○	○	－	○	○	○	○	○	
	数学B	◎	○	○	○		○	○	○	○	
	理科	○	/	/	○	/	/	◎	/	/	
	英語	/	/	/	/	○	/	/	○	/	

※平成31年度よりA問題とB問題の区分なし

各教科の結果について



1 国語

(1) 小学校第6学年

- ◎ 大きく上回っている（5ポイント以上）
- 上回っている（1ポイント以上 5ポイント未満）
- 同程度（±1ポイント未満）
- ▽ 下回っている（1ポイント以上 5ポイント未満）
- ▼ 大きく下回っている（5ポイント以上）

① 教科の正答率

	全 体
県との比較	○
全国との比較	○

② 学習指導要領の内容別正答率

	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		
	言葉の特徴や 使い方に関する 事項	情報の扱い方 に関する事項	我が国の 言語文化に 関する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと
県との比較	○	—	◎	○	○	◎
全国との比較	○	—	◎	—	◎	◎

③ 観点別正答率

	知識・技能	思考・判断・表現
県との比較	○	○
全国との比較	○	○

④ 問題形式別正答率

	選択式	短答式	記述式
県との比較	○	○	◎
全国との比較	○	—	◎

⑤ 考察

- ・教科全体、各種別ともに、平均正答率が県及び全国と同程度か上回る結果となった。
- ・「読むこと」の領域では、人物像や全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかを問う設問において、県及び全国の前年度を大きく上回った。授業において、心情表現や情景描写を丁寧に扱っていることで、児童の読みの力が深められていると考えられる。更に、児童の思考や思いに沿って読み進める場を設けることで、より主体的な活動となることが期待できる。
- ・「話すこと・聞くこと」の領域では、目的や意図に沿って伝え合う内容を検討することができるかを問う設問に課題が見られた。工夫例として、事前に交流相手との打合せの場を設けた伝え合い活動が挙げられる。事前の打合せを通して相手が知りたいことを把握する場を設けることで、必然的に伝え合う内容を検討する場面が生じる。集めた話題を分類したり関係付けたりしながら、目的や意図に沿った内容を伝え合えるようにしていくことが重要である。

(2) 中学校第3学年

◎ 大きく上回っている (5ポイント以上)
○ 上回っている (1ポイント以上 5ポイント未満)
— 同程度 (±1ポイント未満)
▽ 下回っている (1ポイント以上 5ポイント未満)
▼ 大きく下回っている (5ポイント以上)

① 教科の正答率

	全 体
県との比較	○
全国との比較	○

② 学習指導要領の内容別正答率

	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		
	言葉の特徴や 使い方に関する 事項	情報の扱い方 に関する事項	我が国の言語 文化に関する 事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと
県との比較	○	—	○	○	○	—
全国との比較	○	—	○	○	◎	○

③ 観点別正答率

	知識・技能	思考・判断・表現
県との比較	○	○
全国との比較	○	○

④ 問題形式別正答率

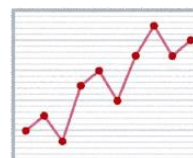
	選択式	短答式	記述式
県との比較	—	○	◎
全国との比較	—	○	◎

⑤ 考察

- ・教科全体、各種別ともに、平均正答率が県及び全国と同程度か上回る結果となった。
- ・「書くこと」の領域では、表現の効果を考えた描写や、効果の説明を書くことを通して、自分の考えが伝わる文章にするための工夫をみる設問において、県及び全国の正答率を大きく上回った。授業の中で表現の効果を丁寧に扱ったり、書いた文章を批評し合う活動を取り入れたりしてきたことも書く力の向上につながっていると考察される。更に、日常生活と結び付けた言語活動や、生徒の創作意欲が高まるような魅力ある言語活動を設定することによって、主体的に表現活動に取り組もうとする態度も育成されることが期待できる。
- ・「情報の扱い方に関する事項」では、情報と情報との関係について理解しているかを問う設問に課題が見られた。県や全国の状況と比較し、「意見」と「事実」、「理由」と「具体例」の捉え違いによる誤答の出現率が高くなっている。新聞の論説等を取り上げ、意見とその根拠を探しながら読んだり、根拠が意見を支えるものになっているか自分の考えとその理由を述べたりするなど、文章内の情報と情報との関係を整理する活動を通して理解を深めることが重要である。

2 算数・数学

(1) 小学校第6学年



◎	大きく上回っている（5ポイント以上）
○	上回っている（1ポイント以上 5ポイント未満）
—	同程度（±1ポイント未満）
▽	下回っている（1ポイント以上 5ポイント未満）
▼	大きく下回っている（5ポイント以上）

① 教科の正答率

	全 体
県との比較	○
全国との比較	○

② 学習指導要領の内容別正答率

	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
県との比較	○	○	○	○
全国との比較	○	○	○	○

③ 観点別正答率

	知識・技能	思考・判断・表現
県との比較	○	○
全国との比較	○	○

④ 問題形式別正答率

	選択式	短答式	記述式
県との比較	○	○	○
全国との比較	○	○	○

⑤ 考察

・教科全体、各種別すべての正答率において、県平均正答率を上回る結果となった。

・計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し表現する問題では、県や全国の平均正答率を大きく上回った。算数の学習や日常生活では、場面を式に表した後、場面と関連付けるなどして計算を工夫できないか考えることが重要であり、そのような活動の工夫の成果と考えられる。しかし、□を用いた式に表すことについては課題が見られたため、未知の数量を表す記号として□などを用いて、問題場面どおりに数量の関係を式に表すことができるよう活動の工夫が求められる。

・円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る問題では、県や全国の平均正答率をやや下回った。日常生活の問題を解決するために、目的に応じて必要なデータを収集して表やグラフに表したり、様々なグラフから読み取れることを考えたりする活動を取り入れることが有効であると考えられる。

(2) 中学校第3学年

- | |
|----------------------------|
| ◎ 大きく上回っている (5ポイント以上) |
| ○ 上回っている (1ポイント以上 5ポイント未満) |
| — 同程度 (±1ポイント未満) |
| ▽ 下回っている (1ポイント以上 5ポイント未満) |
| ▼ 大きく下回っている (5ポイント以上) |

① 教科の正答率

	全 体
県との比較	○
全国との比較	○

② 学習指導要領の内容別正答率

	数と式	図形	関数	データの活用
県との比較	○	○	○	▽
全国との比較	○	○	○	▽

③ 観点別正答率

	知識・技能	思考・判断・表現
県との比較	—	○
全国との比較	—	○

④ 問題形式別正答率

	選択式	短答式	記述式
県との比較	—	○	○
全国との比較	—	○	○

⑤ 考察

- ・教科全体、各種別の多くの正答率において、県平均正答率と同程度または上回る結果となった。
- ・図形の領域における回転移動の理解についての問題では、県や全国の平均を大きく上回った。図形の性質や関係を考察する場面において、移動前と移動後の二つの図形の関係に着目して、図形の移動の特徴を的確に捉える力が身に付いていると考えられる。
- ・複数の集団のデータの分布から四分位範囲を比較する問題では、県や全国の平均を下回った。日常生活や社会の事象を考察する場面では、表やグラフなどからデータの傾向を適切に読み取り、批判的に考察し判断することが求められる場合がある。その際、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できるよう授業において活動を工夫することが大切である。

学習状況調査（児童生徒質問調査）の結果について

1 生活習慣に関連する項目

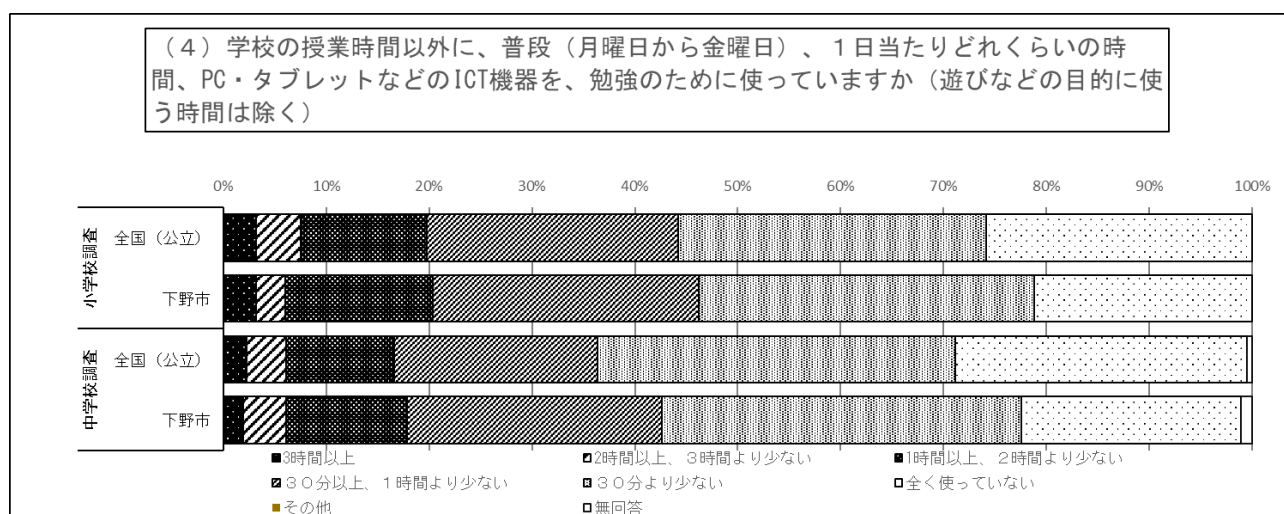
朝食、就寝時刻、起床時刻に関する項目では、肯定的回答の割合が全国を上回る結果となった。昨年度までも同様の結果を示していることから、本市の児童生徒は全体的に基本的な生活習慣が定着していると言える。一方で、昨年度より肯定的回答の割合が増加傾向にあるものの、起床時刻に比べ就寝時刻が不規則な傾向が続いている。

普段、1日当たり1時間以上3時間未満テレビゲームをする児童生徒の割合は、全国を上回る結果となった。また、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画を30分以上3時間未満視聴する生徒の割合は、全国を上回る結果となった。

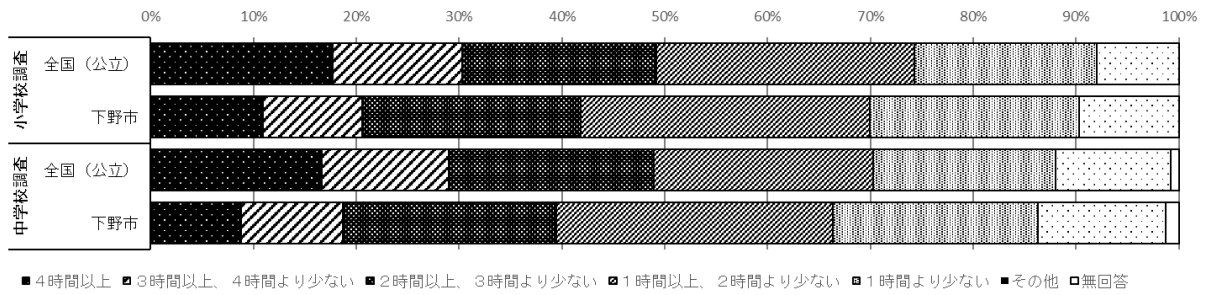
今後も規則正しい生活習慣の大切さやゲーム機や携帯電話・スマートフォンの使い方を児童生徒に指導するとともに、家庭への啓発を引き続き行い、好ましい生活習慣を継続させていくことが重要である。

質問 番号	質 問 事 項	小学校 (%)		中学校 (%)	
		市	全国	市	全国
(1)	朝食を毎日食べていますか	97.4	93.7	94.3	91.2
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	88.1	82.9	82.9	80.7
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.7	91.6	94.9	92.5
(8)	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか	86.9	82.3	80.4	76.7

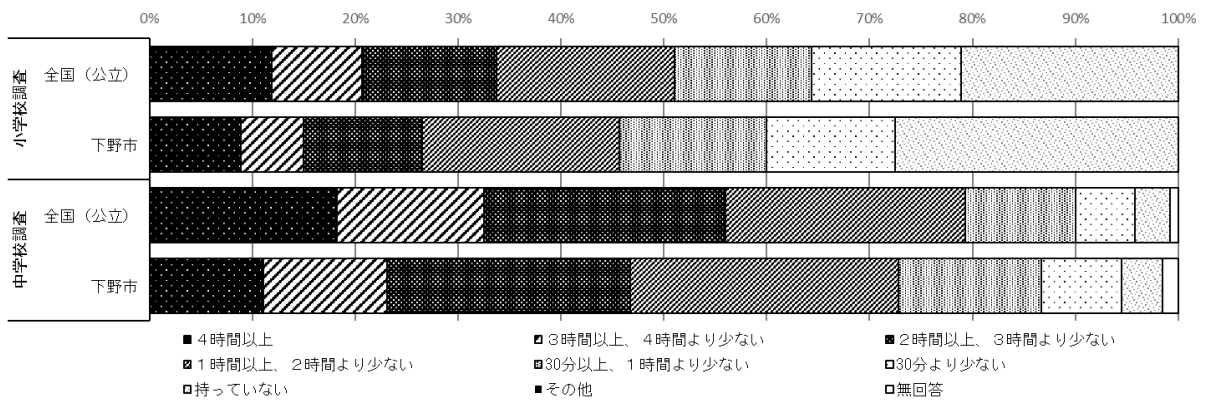
※数値は肯定的回答の合計



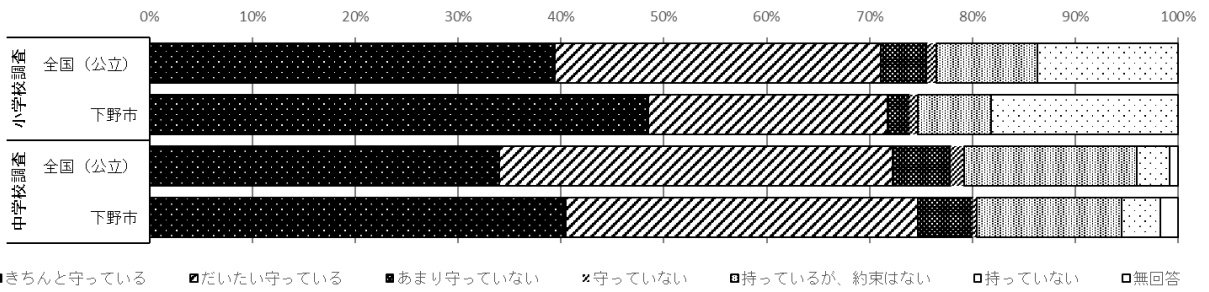
(5) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか



(6) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）



(7) 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



2 自己有用感、人との関わりに関連する項目

全国と比較し、同程度または上回る結果となった。中学校調査では、前年度と比較しても肯定的回答率が上昇した項目が多い。また、小・中学校共に、(9)の項目において、全国を上回る結果となっており、(10)(12)(13)(15)の項目において、高い肯定的回答率が得られた。

このことから、日頃の先生方の関わり方や声掛け等により、児童生徒の自己有用感が高まり、他者を思いやる行動や規範意識の向上につながっていることが考えられる。

今後も、児童生徒に寄り添いながら、一人一人のよさを認め伸ばしていく指導を継続していけるようお願いしたい。

質問 番号	質 問 事 項	小学校 (%)		中学校 (%)	
		市	全国	市	全国
(9)	自分には、よいところがあると思いますか	88.7	84.1	87.6	83.3
(10)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	93.9	89.9	93.0	90.4
(11)	将来の夢や目標を持っていますか	84.4	82.4	71.4	66.3
(12)	人が困っているときは、進んで助けていますか	95.3	92.7	92.7	90.1
(13)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	99.4	96.7	97.5	95.7
(14)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	66.5	67.1	70.0	67.5
(15)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	97.6	95.9	95.0	95.2
(16)	学校に行くのは楽しいと思いますか	84.8	84.8	85.5	83.8
(17)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	79.8	75.8	80.3	76.2
(18)	友達関係に満足していますか	93.3	91.1	88.1	90.1
(19)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか ※「よくある」「ときどきある」の合計	94.5	91.7	88.8	89.8

※数値は肯定的回答の合計

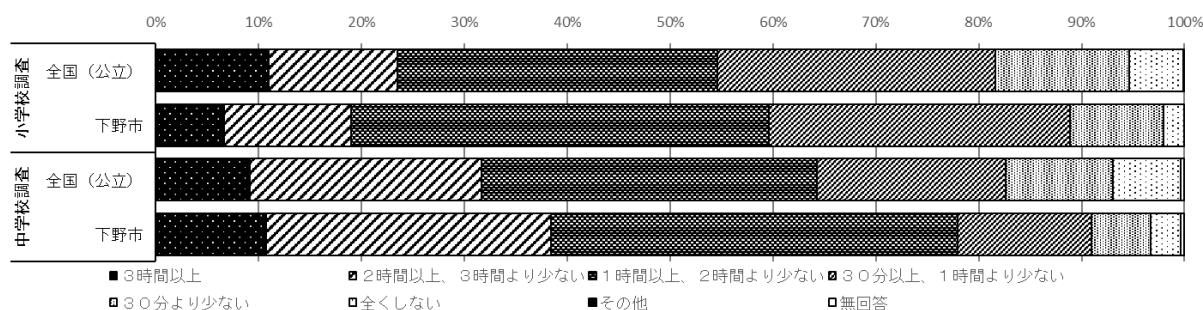
3 学習習慣、家庭・地域に関連する項目

全国と比較し、学校の授業時間以外に勉強をする習慣が身に付いている児童生徒の割合が高い結果となった。また、休日に2時間以上学習している児童生徒の割合が全国を上回った。各学校や中学校区において、家庭学習の手引きを作成したり、家庭への啓発を行ったりしていることが成果につながっていると考えられる。一方で、自分で学び方を考え、工夫することについて、肯定的な回答の割合は、全国を下回った。児童生徒が授業で学習した内容を生かし、次の学習につなげることができるよう、授業と家庭学習のつながりを意識できるような課題の出し方を工夫することが求められる。

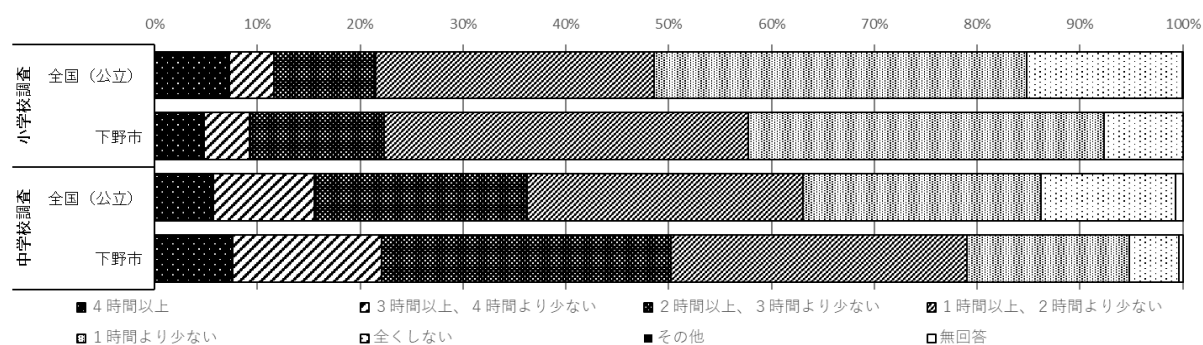
また、新聞を読むと回答した児童生徒の割合は、全国を上回ったが、前年度と比較すると、割合が低くなっている。新聞の日等の活動を有効に活用し、児童生徒が新聞活用のよさを感じられる機会をつくるなどの取組を継続することが大切である。

質問 番号	質 問 事 項	小学校 (%)		中学校 (%)	
		市	全国	市	全国
(20)	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	80.4	80.7	76.3	78.6
(24)	新聞を読んでいますか ※上段：月に1～3回以上と回答した割合 下段：週に1～3回以上と回答した割合	17.4	12.4	15.8	9.7
		9.1	7.9	6.9	5.2
(25)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	85.0	83.5	79.4	76.1

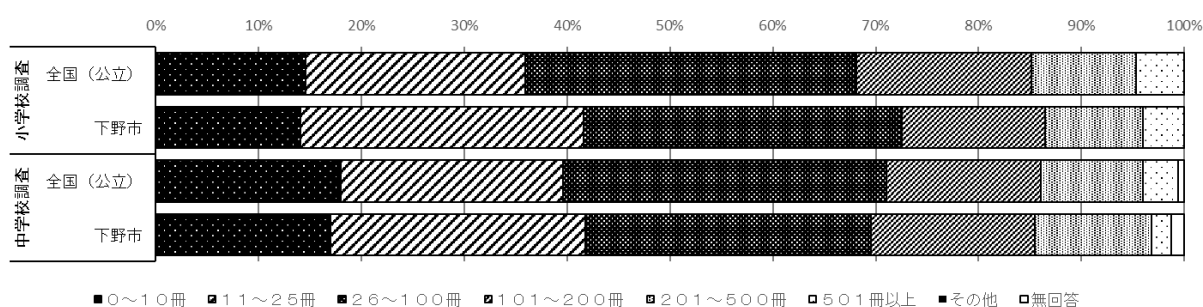
(21) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

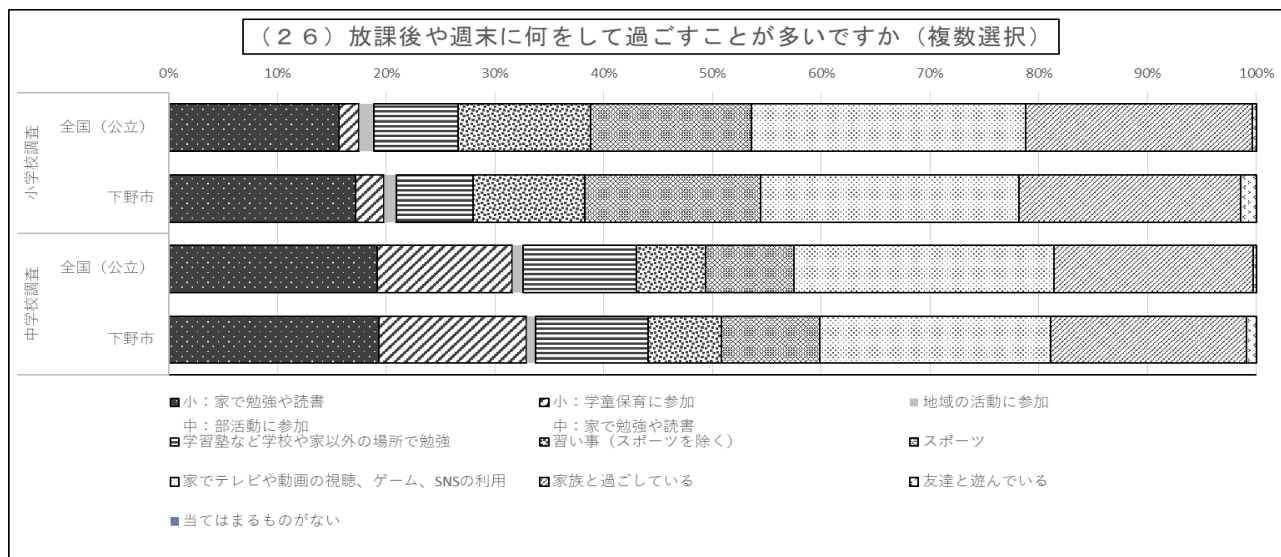


(22) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



(23) あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）





※複数選択のため、数値は100%に換算

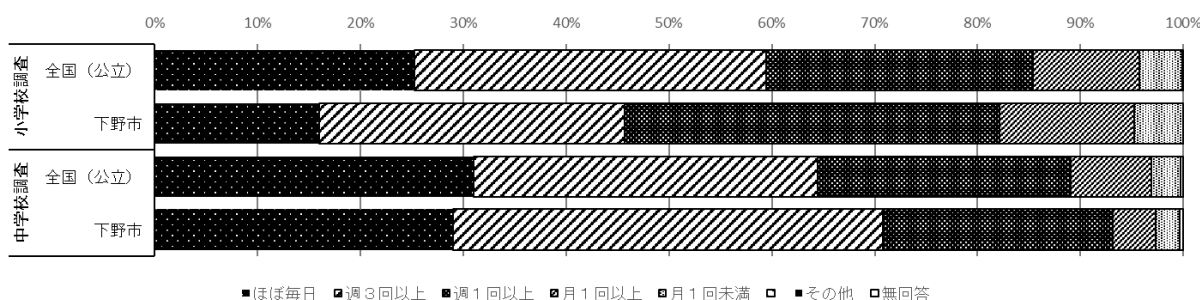
4 ICT 機器の活用に関連する項目

今年度は、ICT 機器活用の効力感に関する項目が加えられた。全国と比較し、肯定的な回答をしている児童生徒の割合が高い結果となった。ICT 機器の活用に効力感を感じている児童生徒が多く、ICT 機器の活用は、学習内容の理解や学習意欲の向上を図る上で、効果的であると考えられる。

授業中の ICT 機器の活用については、「ほぼ毎日」と回答した割合は全国を下回ったが、「週3回以上」と解答した生徒の割合は全国を上回った。また、授業時間以外の ICT 機器の活用については、「1日30分以上、2時間未満」と回答した児童生徒の割合が全国を上回った。校内研修等において、ICT 機器の活用法について共有を図るとともに、家庭学習も含めた ICT 機器の効果的な活用法について、引き続き研究を進めていきたい。

質問 番号	質 問 事 項	小学校 (%)		中学校 (%)	
		市	全国	市	全国
(28-1)	ICT 機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習をすすめることができる	91.3	85.5	83.4	80.2
(28-2)	ICT 機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	96.6	92.1	95.3	93.9
(28-3)	ICT 機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができる	88.1	86.0	87.0	82.4
(28-4)	画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる	94.9	89.8	91.6	89.0
(28-5)	ICT 機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	83.9	79.2	81.3	77.7
(28-6)	ICT 機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	89.3	86.1	89.5	86.2
(28-7)	ICT 機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができる	90.3	87.1	86.2	85.2

小（２７）５年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか 中（２７）１、２年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



5 授業や教科に関連する項目

今回調査の対象となったのは、国語、算数・数学、理科、英語の4教科である。いずれの教科においても、ほとんどの項目で肯定的回答の割合が全国と同程度か上回る結果となった。教科の学習について「大切である」「将来社会に出たときに役に立つ」と考えている児童生徒の割合に対し、その教科の勉強が「好き」と答えている児童生徒の割合が低いことは昨年度と変わらない。国語、算数・数学、英語について昨年度と比較すると、肯定的回答率が上昇している教科も見られる。また、話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり、課題を解決したりすることについて、肯定的回答の割合が高い。今後も、児童生徒が主体的に学習に取り組むことができ、どの児童生徒も学習内容が分かる、できる楽しさを実感できるような授業づくりが求められる。

質問番号		質問事項 ※（ ）は中学校	小学校 (%)		中学校 (%)	
小	中		市	全国	市	全国
(29)	(29)	5(2)年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	62.9	67.6	67.2	64.8
(30)	(30)	5(2)年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	84.0	81.9	82.4	80.3
(31)	(31)	5(2)年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	82.8	79.6	82.3	75.4
(32)	(32)	5(2)年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	91.5	84.3	80.9	80.9
(33)	(33)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	90.1	86.3	88.5	86.1
(34)	(34)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	80.6	80.8	77.5	77.9
(35)	(35)	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか	87.5	83.7	78.8	79.0

(36)	(36)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	93.1	87.9	86.8	84.9
(38)	(38)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	86.1	81.3	89.0	82.2
(39)	(39)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	85.0	84.2	92.4	86.3
(40)	(40)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	85.1	82.5	83.8	80.6
(41)	(41)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	92.7	88.2	94.1	91.7
(42)	(42)	国語の勉強は好きですか	63.4	62.0	65.6	64.3
(43)	(43)	国語の勉強は大切だと思いますか	97.2	94.5	95.4	93.9
(44)	(44)	国語の授業の内容はよく分かりますか	90.7	86.3	88.3	82.7
(45)	(45)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	97.3	93.2	94.2	90.6
(46)		国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理していますか	81.0	78.3		
(47)		国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えていますか	82.8	80.0		
(48)		国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか	85.0	83.2		
(49)		国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか	85.5	84.4		
	(46)	国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解していますか			82.6	78.7
	(47)	国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめていますか			87.8	80.5
	(48)	国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いていますか			78.5	76.7
	(49)	国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈していますか			84.1	82.0
(50)	(50)	算数・数学の勉強は好きですか	61.8	61.0	58.2	57.2
(51)	(51)	算数・数学の勉強は大切だと思いますか	96.0	94.6	92.9	87.2
(52)	(52)	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	85.1	82.1	77.1	75.7
(53)	(53)	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	96.4	94.1	84.8	78.5
(54)	(54)	算数・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えていますか	80.0	77.9	58.2	57.2

(55)	(55)	算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずいろいろな方法を考えていますか	87.7	83.3	78.7	78.1
(56)	(56)	算数・数学の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか	68.7	63.6	47.1	46.0
(57)	(57)	算数・数学の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか	89.7	84.6	81.1	77.0
(58)	(58)	理科の勉強は好きですか	88.1	83.6	67.8	68.3
(59)	(59)	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがありますか	87.5	83.2	71.0	70.7
(60)	(60)	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	88.0	85.6	74.7	71.5
(61)		英語の勉強は好きですか	73.7	69.3		
(62)		英語の勉強は大切だと思いますか	95.5	92.1		
(63)		英語の授業の内容はよく分かりますか	80.8	78.3		
	(61)	英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか			90.9	83.3
	(62)	英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか			92.0	85.6
	(63)	原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか			72.3	68.8
	(64)	スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか			90.1	82.4
	(65)	自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか			91.8	85.7

※数値は肯定的回答の合計